

2021年度（令和3年度）常磐大学教員免許状更新講習【必修領域】授業概要

11月13日(土) 【必修領域】		
時間	担当者	内容
9:00-10:30	大高 泉	世界の教育動向と日本の教育政策 修了試験①（10:20-10:30）
10:45-12:15	小島 睦	教員としての子ども観，教育観等についての省察 修了試験②（12:05-12:15）
12:15-13:15		昼食休憩
13:15-14:45	島田茂樹	子どもの発達に関する脳科学・心理学の知見と特別支援教育 修了試験③（14:35-14:45）
15:00-16:30	青山晴美	居場所づくりを意識した集団形成とカウンセリングマインド 修了試験④（16:20-16:30）

各授業の概要

世界の教育動向と日本の教育政策 [担当：大高 泉]

コンピテンシー・21世紀型スキル・リテラシーなど、「新しい能力」の育成を志向する世界の教育動向と、その動向を踏まえつつ日本の教育課題をうけて告示された新学習指導要領，そして次期学習指導要領に向けて「新しい時代の初等中等教育の在り方特別部会」（文科省）が提案する「令和の日本型学校教育」にみる今後の日本の教育政策について主要な点を中心に講義する。

教員としての子ども観，教育観等についての省察 [担当：小島 睦]

これからの社会を創り出していく子どもたちに必要となる資質能力はどのようなことか、また、そのために教員にはどのような指導が求められるのかを明らかにし、これからの学校教育を担う教員の資質能力と学校教育の在り方について考察する。

子どもの発達に関する脳科学・心理学の知見と特別支援教育 [担当：島田 茂樹]

子どもの発達に関する脳科学と心理学の最新の知見の理解に基づき、脳や神経系の発達と子どもの諸能力の発達との関わりを考える。続いて学習障害（LD）、注意欠如多動症（ADHD）、自閉スペクトラム症等の発達障害のある子どもや特別なニーズを持つ子どもの行動特徴を理解し、通常の学級における支援方法について学ぶ。

居場所づくりを意識した集団形成とカウンセリングマインド [担当：青山 晴美]

児童虐待やいじめ、新型コロナによるストレス等、子供達を取り巻くシビアな環境を改善する上で、学校・園の担う役割が増加している。それぞれの学級で考え、組織的に取り組める事は何なのか、演習を可能な限り体験しながら、受講者が一体となって集団形成について、考えて欲しい。

2021年度（令和3年度）常磐大学教員免許状更新講習【選択必修領域】授業概要

11月14日(日) 【選択必修領域】		
時間	担当者	内容
9:00-10:30	栗原和弘	新たな教育要領・学習指導要領で求められていること 修了試験①（10:20-10:30）
10:45-12:15	小山田建太	学校段階に応じたキャリア教育の在り方 修了試験②（12:05-12:15）
12:15-13:15		昼食休憩
13:15-14:45	石崎ちひろ	中教審答申にみるチームとしての学校 修了試験③（14:35-14:45）
15:00-16:30	柴原宏一 松橋義樹	学校を巡る近年の状況の変化 ※演習形式 修了試験④（16:20-16:30）

各授業の概要

新たな教育要領・学習指導要領で求められていること [担当：栗原 和弘]

新学習指導要領等の総則を中心に、幼稚園から高等学校までの教育目標・内容・方法を概観し、全ての学習の基盤となる力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力、組織的・計画的に教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントの考え方、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善等について、関連資料を参考にしつつ理解を深める。

学校段階に応じたキャリア教育の在り方 [担当：小山田 建太]

キャリア教育がなぜ必要とされているのかに関する昨今の社会的背景を整理した上で、今日の児童生徒の意識や実態、ならびに現代的な教育的対応の概況を確認する。そして以上の内容を踏まえて、今日の児童生徒にとっての“学校から社会へ”の移行を支えるためのキャリア教育の視点を提示する。

中教審答申にみるチームとしての学校 [担当：石崎 ちひろ]

2015年の中教審答申において、学校は「チーム」となる必要性が示された。そこで本講義では、答申の概要及びその背景にある社会状況、学校の状況について改めて確認する。その上で、学校を組織として捉える視点を見いだすこと、職員の協働の必要性について考える。

学校を巡る近年の状況の変化 ※演習形式 [担当：柴原 宏一，松橋 義樹]

近年、「小1プロブレム」等の課題を踏まえ、幼稚園、保育所および認定こども園と小学校との連携・接続をより進めることで、子どもの学びの連続性を確保することが求められている。そこで、本講座では、特にGIGAスクール構想に代表される学校教育へのICT機器の導入が急速に進められている中、就学前教育から小学校教育への学びの連続性・継続性という視点からどのような取組を行う必要があるのかということについて、参加者の日々の教育活動を基に、演習を通して考察する。